リハビリテーション部

診療内容・専門分野

当部は，骨折術後や人工関節置換、腱板術後を主とする運動器疾患、脳卒中などの中枢性疾患、心不全などの心疾患に対するリハビリテーションを主に行っております。その他、糖尿病の運動療法、呼吸及びがんリハビリテーションにも力を入れております。

また、言語障害や摂食嚥下障害に対しても嚥下内視鏡検査（VE）や嚥下造影検査（VF）での診断をもとに治療を行っております。

【設備のご紹介】

①大腿の筋力を測定するコンビットや、全身の筋力を客観的に評価するモーヴィーを用いての訓練を計画します。また、心電図を装着しながらの自転車エルゴメーター等、安全面にも配慮したリハビリを行っています。

②日常生活動作機器として、キッチンユニット装置、トイレ昇降装置、浴室システム装置、昇降式和室装置、リハビリ公園等で、早期にご自宅や生活環境に近い状況を再現し、日常生活動作訓練を行うことが可能です。

③高精度体成分分析装置（インボディー）を設置しており、体内の筋量、脂肪や水分量の計測が可能です。

④療法士がオーダーメイドでスプリントや補装具を作成し、患者さんの日常生活を支えるお手伝いをいたします。

⑤糖尿病療養指導士・呼吸認定療法士・心臓リハビリテーション指導士・心不全療養指導士・NST専門療法士など資格を持った療法士が在籍しており、より安全で専門性の高いリハビリテーションを提供いたします。

ご紹介いただくにあたって

ご紹介いただくにあたっては、訓練を担当する理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が、患者さんの全体像を正確に把握するため、病歴や注意事項・禁忌事項をできるだけ明確にお伝えいただけますようお願い申し上げます。